

# ふるさとなみえ科 plus Q&A



浪江町立浪江小学校・津島小学校

## Q1 「ふるさとなみえ科」は、いつから、どうして始まったのですか？

A 1 東日本大震災の1年後、平成24年度から、地域の素材や人材を活用し郷土のよさを伝えるために「ふるさとなみえ科」を創設し、郷土を愛する心を育み、未来を創造的に生きぬくたくましい人間の育成を目指したいと考えました。学習は主に浪江町の伝統や文化を体験したり、学んだりしています。例えば、大堀相馬焼、十日市祭、安波祭、なみえ焼麺等ですが、それぞれ体験や取材したことについて「なみえ子ども新聞」にまとめ、情報を発信しています。また、仮設住宅訪問での浪江町の方をはじめ、様々な人々との交流を通して学んだことをもとに、「なみえっ子カルタづくり」に挑戦しています。



## Q2 「ふるさとなみえ科」の意義について教えてください。

A 2 ふるさとを追われた子どもたちに自然豊かな風景や伝統文化を残していくためには郷土を学ぶ学習が町の復興にも大いに活かされると考えます。今まで学校、家庭、地域の人々に見守られていた子どもたちですが、新しい環境の中で生きていることを自覚することも大切です。新たな環境下では、学校が地域の方々に積極的に関わっていくことで、子どもたちの教育が、地域の方々をつなぐ役割を担い、ふるさとの未来を創造していく上で大切な役割を果たします。

## Q3 なぜ、「plus(プラス)」なのですか？

A 3 これまでの「ふるさとなみえ科」の取り組みでは、主に「浪江町の伝統や文化」についての学習を行ってきました。しかし震災から4年がたち浪江町での生活経験が少ない子どもたちが大半を占めるようになりました。そのため、学習対象を浪江町にplus(プラス)して、現在の学校再開地である二本松市を新たな対象に加えてそれぞれの「ひと・こと・もの」を大切に学習を展開しています。また、双葉郡復興ビジョンや平成26年度から双葉郡全体で取り組んでいる「ふるさと創造学」との整合性から見直しを図り、より探究的な学習活動を展開しています。

## Q4 「ふるさとなみえ科」を通して子どもたちにどのような変化が見られますか？

A 4 避難をしてふるさとを離れていますが、ふるさとを誇りに思う心、地域の方々に対する思いやりの心が育っています。また、ふるさとの伝統や文化の魅力を実感し、ふるさと学習に意欲的に取り組んでいるとともに、自分の未来を見つめ、将来への夢を考え始めています。

## Q5 「ふるさとなみえ科」において地域の方々と連携を図る上で、どのような工夫がありますか？また、地域の方々に変化はありますか？

A 5 浪江町役場、浪江青年会議所、NPO法人新町なみえ、なみえ焼麺太国、陶芸の杜おおぼり二本松工房等の復興した事業所、仮設住宅の自治会長さん等と連携しながら外部講師を招いたり、校外学習に出向いたりして、体験的、探究的な学習を進めています。また、学習の成果をHPや学校だより等を利用して発信することで、新しいつながりもでき、学校を取り囲む輪が広がっています。

## Q6 「まるごとふるさとなみえ博物館」とはどのようなものですか？

A 6 校舎を「まるごとふるさとなみえ博物館」ととらえ、常時「ふるさとなみえ科」を含めた学習状況が見渡せるような学習環境づくりを県立博物館の学芸員の指導を受けて進め、全校児童の学習成果が共有でき、学習過程の可視化や効果的に相手に伝わるような発表・展示を工夫しています。また、子どもたちは「子ども学芸員」として、見る側の立場に立った魅力ある博物館づくりを「ふるさとなみえ科」の一環として取り組んでいます。



## 双葉郡教育復興ビジョン「ふるさと創造学」

# ふるさとなみえ科 plus

### ◇ ふるさとなみえ科の目標

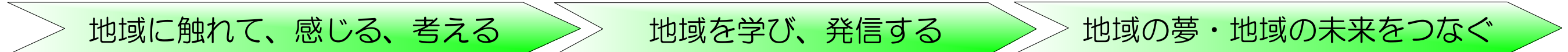
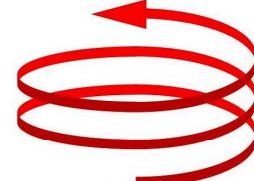
浪江の子どもたちの  
浪江町民をつなげる力で  
浪江の未来を拓く



浪江町立浪江小学校・津島小学校



探究の学習過程



**わたしの町の「食」自まんⅠ・Ⅱ**  
Ⅰ「かぼちゃまんじゅう」・Ⅱ「和菓子づくり」

Ⅰ 浪江町 ↔ Ⅱ 二本松市

【課題をつかむ】

- ふるさとの自然や伝統文化を体験したり、地域の人から話を聞いたりして、興味関心・疑問を持つ。

〈ウェビング・インタビュー〉

【情報を集める】

- 学習テーマに関する団体や施設を訪問し、インタビューをする。
- 地域の専門家の話を聞く。

〈講師を招いてのかぼちゃまんじゅうづくり〉

【整理・分析する】

- 体験活動を通してわかったことや集めた情報を振り分けたり、序列を付けたりする。
- 集めた情報をマップや図等で分類・整理・分析する。

〈付せん紙に書いて分類する・書いて振り返る〉

【まとめ・表現】

- 作文や新聞等にまとめ表現する。
- まとめた内容を地域の人々に報告・発信する。

〈子ども新聞にまとめる〉

**伝統文化にふれようⅠ・Ⅱ**  
Ⅰ「津島の三匹獅子」・Ⅱ「和紙伝承館での和紙づくり」

Ⅰ 浪江町 ↔ Ⅱ 二本松市

【課題をつかむ】

- ふるさとの自然や伝統文化を体験したり、地域の人から話を聞いたりして、興味関心・疑問を持つ。

〈津島三匹獅子の講話を聞く〉

【情報を集める】

- 学習テーマに関する団体や施設を訪問し、インタビューをする。
- 地域の専門家の話を聞く。

〈津島三匹獅子の体験〉

【整理・分析する】

- 体験活動を通してわかったことや集めた情報を振り分けたり、序列を付けたりする。
- 集めた情報をマップや図等で分類・整理・分析する。

〈付せん紙に書いて分類する〉

【まとめ・表現】

- 作文や新聞等にまとめ表現する。
- まとめた内容を地域の人々に報告・発信する。

〈ふるさとなみえ科 校内発表会〉

**浪江の人々と交流しよう**  
○なみえっ子カルタづくり ○ふるさとなみえ交流会 ○十日市祭

〈昨年までの活動を振り返り今年度の取り組みを考える〉

〈なみえっ子カルタを完成させよう!〉

〈仮設住宅の人たちと交流を深めよう!〉

〈十日市祭を成功させよう!〉

【課題をつかむ】

- ふるさとの自然や伝統文化を体験したり、地域の人から話を聞いたりして、興味関心・疑問を持つ。

〈様々な人々とのかわりと体験活動〉

【整理・分析する】

- 体験活動を通してわかったことや集めた情報を振り分けたり、序列を付けたりする。
- 集めた情報をマップや図等で分類・整理・分析する。

〈これまでの体験をもとに絵本作家のアドバイスをうけてカルタを作成する〉

【まとめ・表現】

- 作文や新聞等にまとめ表現する。
- まとめた内容を地域の人々に報告・発信する。

〈カルタの完成〉

〈仮設住宅の人たちと交流〉